

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
 ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
 (この取扱説明書は必ず保管してください。)

## 安全上のご注意

施工、使用(操作・保守・点検)の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。  
 機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

⚠ 危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損傷だけの発生が想定される場合。

なお、**⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

## ■設置時の注意

⚠ 注意	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・搭載可能質量は 700kg です。搭載可能質量を超過しますと、転倒・変形の原因になります。</li> <li>・耐震対策のために M12 以外のアンカーボルトで固定しないでください。転倒・変形の恐れがあります。</li> </ul>	

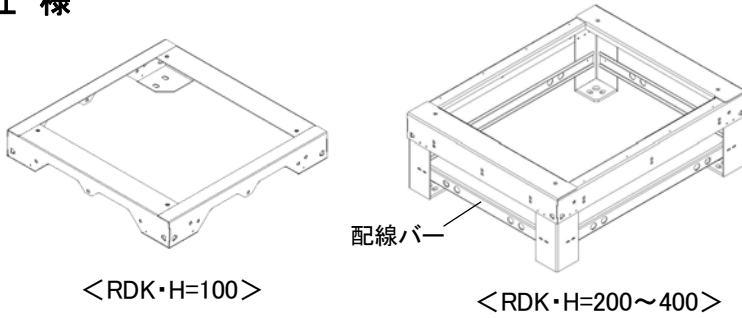
## ■使用上の注意

⚠ 注意									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・組付けに際してボルトをしっかりと締付けて下さい。締付けが不十分ですと落下・転倒の原因になります。</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>7.84～10.78N・m(80～110kgf・cm)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>19.6～29.4N・m(200～300kgf・cm)</td> </tr> <tr> <td>22 (ハードロックナット)</td> <td>200～250N・m(2041～2551kgf・cm)</td> </tr> </tbody> </table>	ねじの呼び	適正締付トルク値	8	7.84～10.78N・m(80～110kgf・cm)	10	19.6～29.4N・m(200～300kgf・cm)	22 (ハードロックナット)	200～250N・m(2041～2551kgf・cm)
ねじの呼び	適正締付トルク値								
8	7.84～10.78N・m(80～110kgf・cm)								
10	19.6～29.4N・m(200～300kgf・cm)								
22 (ハードロックナット)	200～250N・m(2041～2551kgf・cm)								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・次のような場所では使用しないでください。故障の原因になります。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・高温、高温となる場所・腐食性ガスのある場所・可燃性ガスのある場所・塵埃やオイルミストが多い場所</li> <li>・振動、衝撃のある場所・ノイズ、電界、磁界の強い場所・水滴のかかる場所</li> </ul> </li> </ul>									

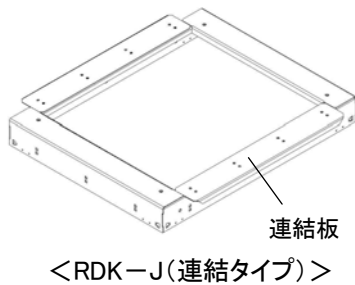
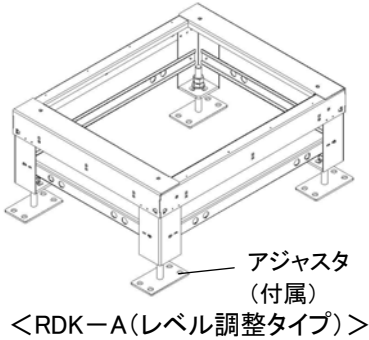
## ■施工上の注意

⚠ 注意					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基台底面またはアジャスタのアンカーボルト取付用穴を使用し、M12アンカーボルトにて床面に固定してください。</li> <li>・RDK-A(レベル調整タイプ)はアジャスタ 1 個あたり対角に 2 ヶ所アンカー固定してください。&lt;下図&gt;</li> </ul>					
<table border="1" style="margin: 0 auto;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="text-align: center;">最小埋め込み深さ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ボルト径M12</td> <td style="text-align: center;">60mm</td> </tr> </table>		最小埋め込み深さ	ボルト径M12	60mm	
	最小埋め込み深さ				
ボルト径M12	60mm				
<p style="text-align: center;">金属拡張アンカー(おねじ形)</p> <p style="text-align: center;">60mm 以上</p> <p style="text-align: center;">&lt;RDK あと施工アンカー施工例&gt;</p>	<p style="text-align: center;">金属拡張アンカー</p> <p style="text-align: center;">60mm 以上</p> <p style="text-align: center;">&lt;RDK-A(レベル調整タイプ)あと施工アンカー施工例&gt;</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラック本体が水平に設置できるように、レベル調整を行ってください。設置に不備があるとドアの開閉及び機器搭載などに支障をきたすことがあります。</li> </ul>					

## ■仕様



部品名	材質	板厚	数量
基台本体	鉄	3.2mm	1
	鉄	9.0mm	
配線バー(H=300,400)	鉄	2.3mm	4
アジャスタ(RDK-A)	鉄	6.0mm	4
連結板(RDK-J)	鉄	2.3mm	2

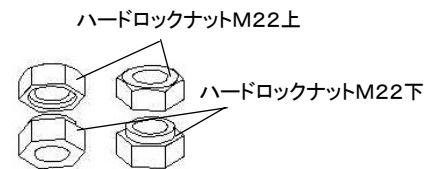


### 付属品 1(全機種)

- ・ラック取付用
  - 六角ボルトM10 ……4 個
  - ばね座金 10 ……4 個
  - 大形丸座金 10 ……4 個
- ・連結用
  - 六角ボルトM10 ……2 個
  - ばね座金 10 ……2 個
  - 大形丸座金 10 ……2 個
  - 六角ナットM10 ……2 個

### 付属品 2(RDK-Aのみ)

- アジャスタ ……4 個
- 六角ナットM22 ……4 個
- ハードロックナットM22 ……4 セット
- 平座金 22 ……8 個



<ハードロックナットM22>

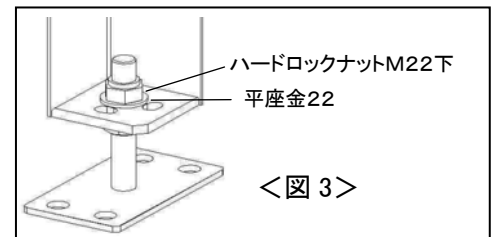
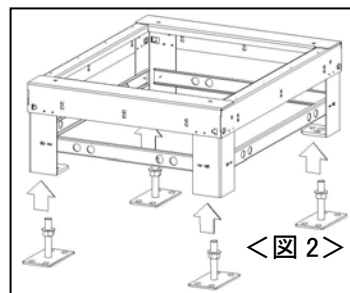
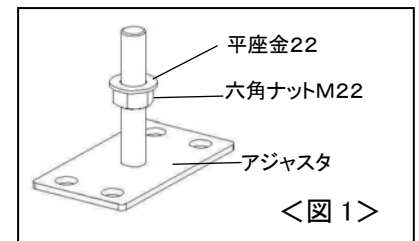
### 付属品 3(RDK・H=100は除く)

- ・ゴムスペーサ ……2 個

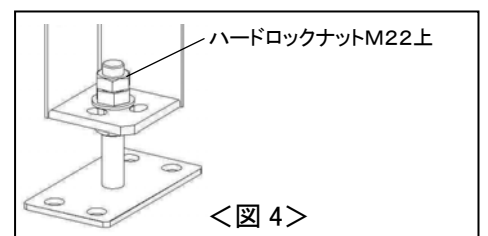


## ■アジャスタ組付方法(RDK-A)

- (1)アジャスタに六角ナットM22、平座金22 各 4 個を取付けてください。  
その際、基台が必要な高さになるように位置決めをしてください。<図 1>
- (2)基台の脚部4ヶ所に(1)のアジャスタを差込み、平座金22、  
ハードロックナットM22下で仮止めします。<図2,3>



- (3)基台の高さ調整、水平出しを行ってください。
- (4)アンカー施工後にハードロックナットM22下、ハードロックナットM22上  
の順で確実に締付けてください。<図4>



## ■ 連結方法

連結組合せ表



RDK又はRDK-A



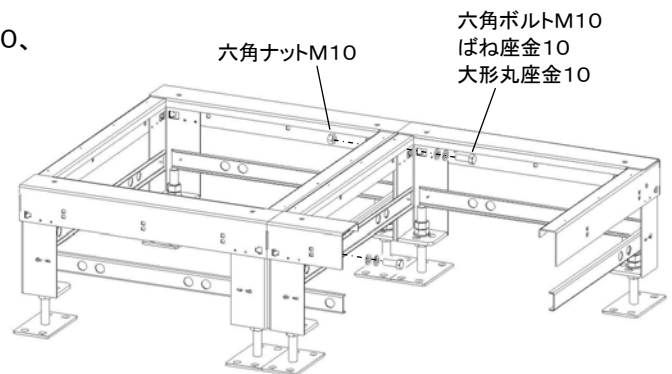
RDK-J

連結数	イメージ図	基本タイプ必要数 (RDK又はRDK-A)	連結タイプ必要数 (RDK-J)
単体		1	0
2連結		2	0
3連結		2	1
4連結		3	1
5連結		3	2
6連結		4	2
7連結		4	3

**ご注意** H=100タイプはRDK-J（連結タイプ）と組合せは出来ません。

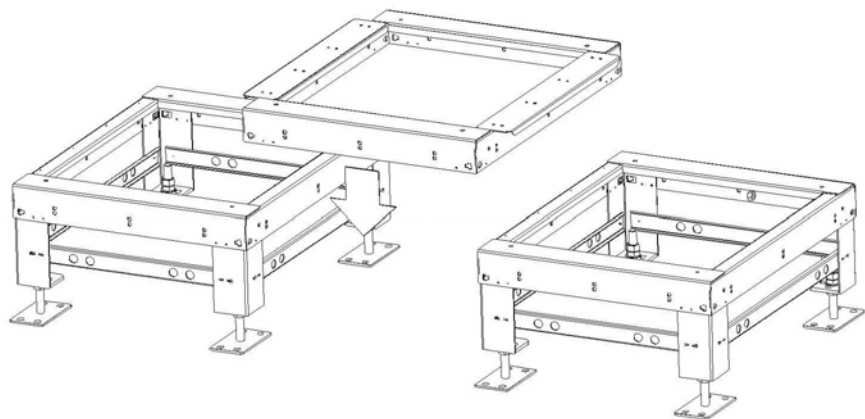
### (1)RDK又はRDK-A同士の連結(2 連結の場合)

並べて設置して、基台側面のφ12を利用して六角ボルトM10、六角ナットM10、ばね座金10、大形丸座金10 各2個にて固定してください。

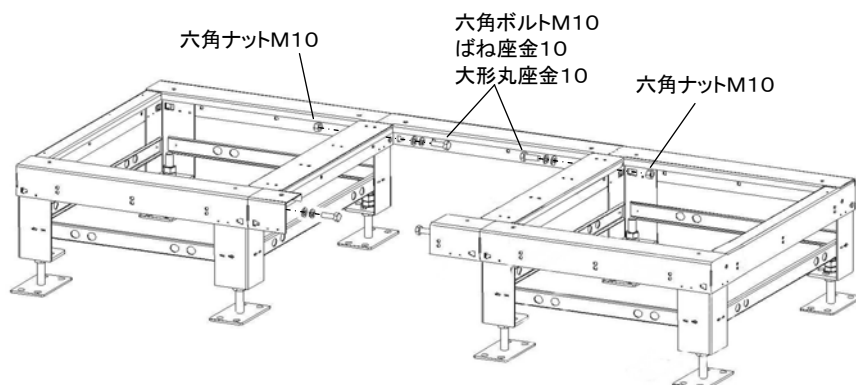


### (2)RDK-Jを使用時の連結(3 連結の場合) ※H=100タイプは除く

・RDK又はRDK-Aの間にRDK-Jをはめ込みます。



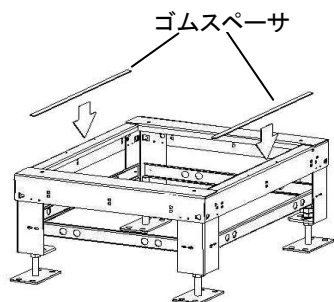
・基台側面のφ12を利用して六角ボルトM10、六角ナットM10、ばね座金10、大形丸座金10 各4個にて固定してください。



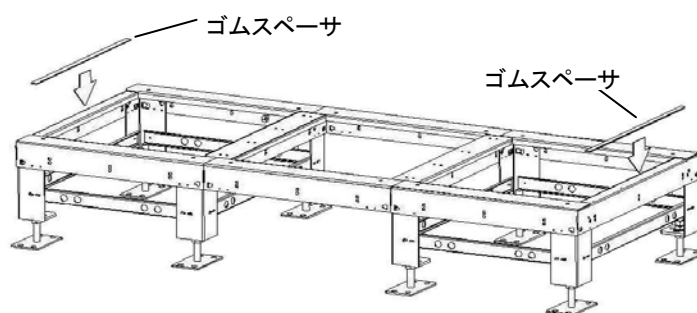
## ■ゴムスペーサの貼付方法

(1)付属のゴムスペーサを基台上面の段差部に貼付けして下さい。

### ◇単体の場合

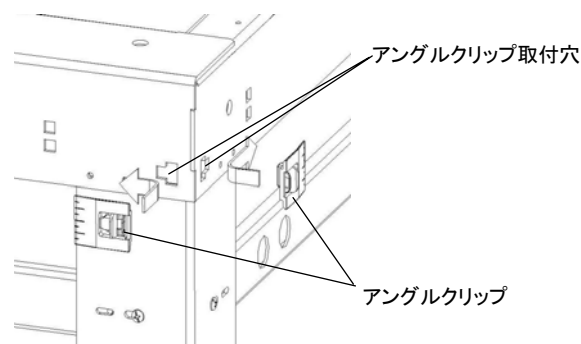
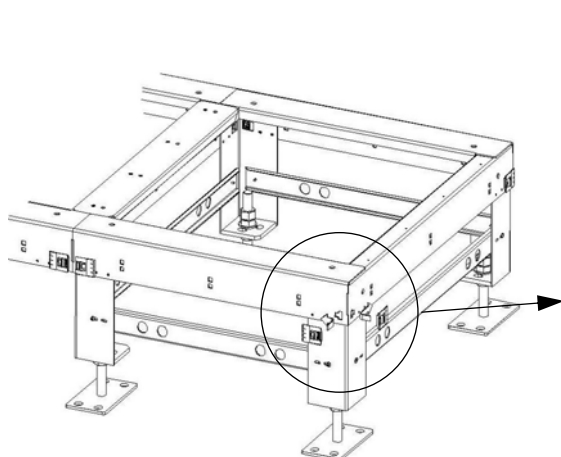


### ◇連結の場合

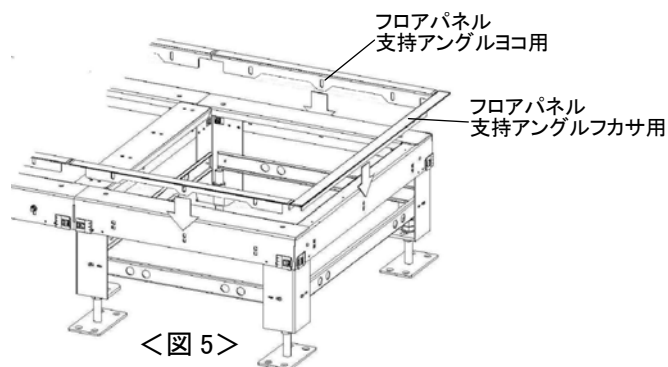


## ■フロアパネル支持アングル(RDK1-□)の取付方法

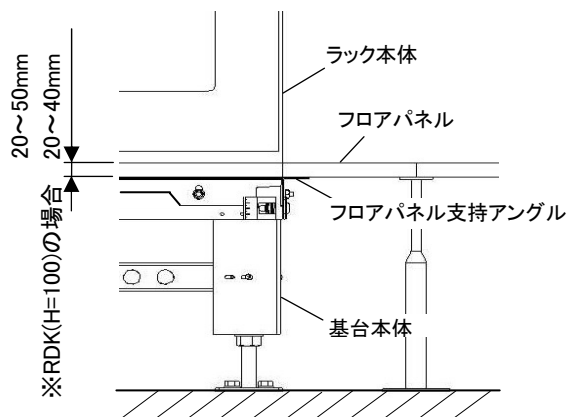
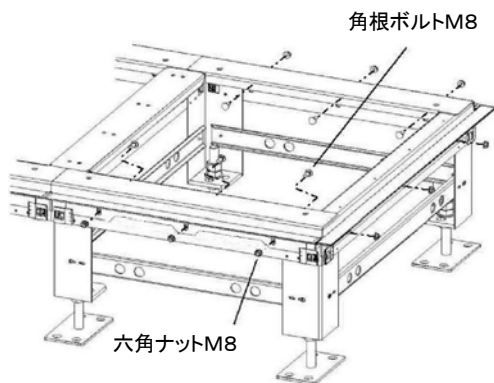
(1)アングルクリップを基台のアングルクリップ取付け穴に取付けてください。



(2)フロアパネル支持アングルをアングルクリップの間に差込み<図5>、フロアパネルの厚さに合わせ位置調整を行ってください<図6>。アングルクリップに目盛がついていますので参考にしてください。



(3)付属の角根ボルトM8、六角ナットM8 各2個にて固定してください。



<図6>

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。  
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問い合わせください。この取扱説明書の内容は2010年5月現在のものです。